



ずっとズリネタにしてた姉とセフレ契約した話ww

……もうすぐ目的地付近デス、運転ゴクロウサマでした……。

「**准っ！ほら起きてっ！もう着くからっ！**」

「ん……ふああつ……あれ？旅館どこ……？」

「**旅館じゃないわよっ！練習場っ！**」

「ええっ！もう練習すんの？！今日はいっしょっ！車に五時間も乗ってて疲れたよー……」

「**アンタ寝ただけでしょっ！まだお昼過ぎなんだから全然練習できるわよっ！**」

「たかだか県の地区予選で気合入れすぎだよ〜姉ちゃんっ。」

「あたしの弟が県予選も勝ち抜けないなんて許せるもんかっ！卒業前の最後の大会っ！姉ちゃんが絶対勝たせてやるからねっ！」

「……あいかわらずの負けず嫌い……。別に俺はオリンピック目指してるわけでもねーし、そもそも大学で陸上する気もないんだって……。」

「**そっいう問題じゃないのっ！三年間の集大成なんだからあ、全力で挑んだ方が絶対素敵な思い出になるってっ！……なっ！**」

「ほんと熱血だなあ、松○シューターみたい……。まあ、日本代表の強化選手になるんだからメンタルお化けなのも当然かあ。」



俺の3つ上の姉は陸上・短距離走の日本代表候補だ。小さい頃から神童と呼ばれて何度か全国放送のテレビでも採り上げられたこともあるほど。

翻って俺は、そんな姉の影響で同じ競技を始めたものの、ここ何年も自己ベストを更新することなく……部内でも特に期待されることもなく最後の大会を迎えようとしていた。

「別にわざわざ練習見にくんなくってもいいのに……いろいろ調整とかあんじゃないの？俺のせいで調子落としたら国民に叩かれるわ」

「あほう、あんたのコーチしたくらいでなんも変わらんわ。それに今オフシーズンだから、本格的な調整はむしろ行ってからすんの。」

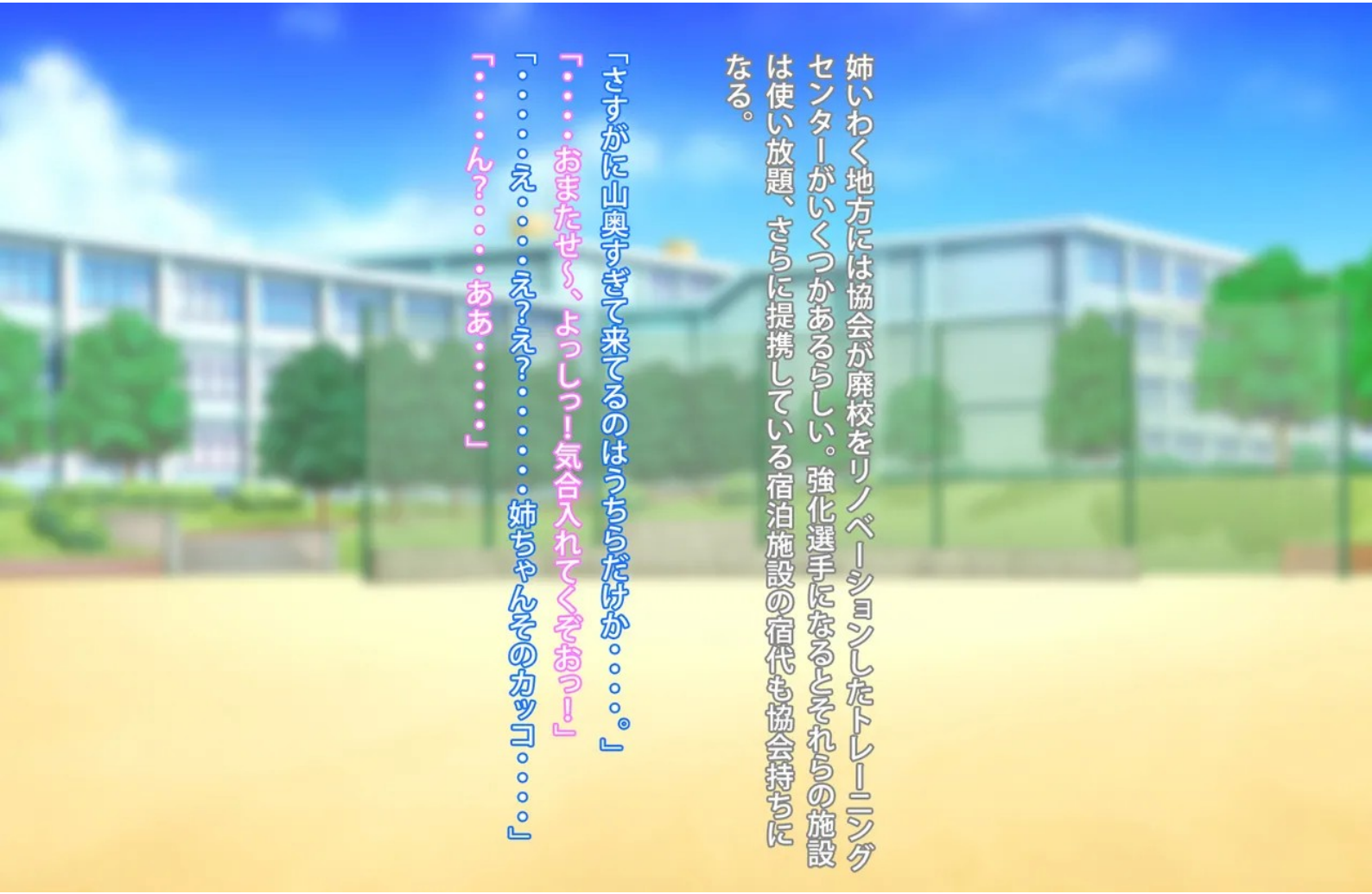
「あつそ……そりゃわざわざあんがと。」

「だからっ！わざわざオフに練習付き合うんだから！中途半端な成績じゃあスツキリと渡米できないでしょっ！」

「(……彼氏と別れて暇になっただけだと思っただけどなあ……ブツブツ……)」

「あっ！あそこだっ！あの廃校だわっ！」





姉いわく地方には協会が廃校をリノベーションしたトレーニングセンターがいくつもあるらしい。強化選手になるとそれらの施設は使い放題、さらに提携している宿泊施設の宿代も協会持ちになる。

「さすがに山奥すぎて来てるのはっちらだけか……。」

「……おまたせ〜、よっしっ！ 気合入れてくぞあっ！」

「……え……えっ……えっ……姉ちゃんそのカツ」……

「……ん？……ああ……。」

ね、姉ちゃんそれ競技用ユニーじゃん……っ！  
ああ、やっぱこれじゃないと気合いはいらなのよね♪

どおっわっ

どおっわっ





……きつしたうもそそしすもりて……  
ら……おの……と……ア……す……ア……  
く……  
え……！……も……先……時間……！  
あ……！……！……

もこり

V

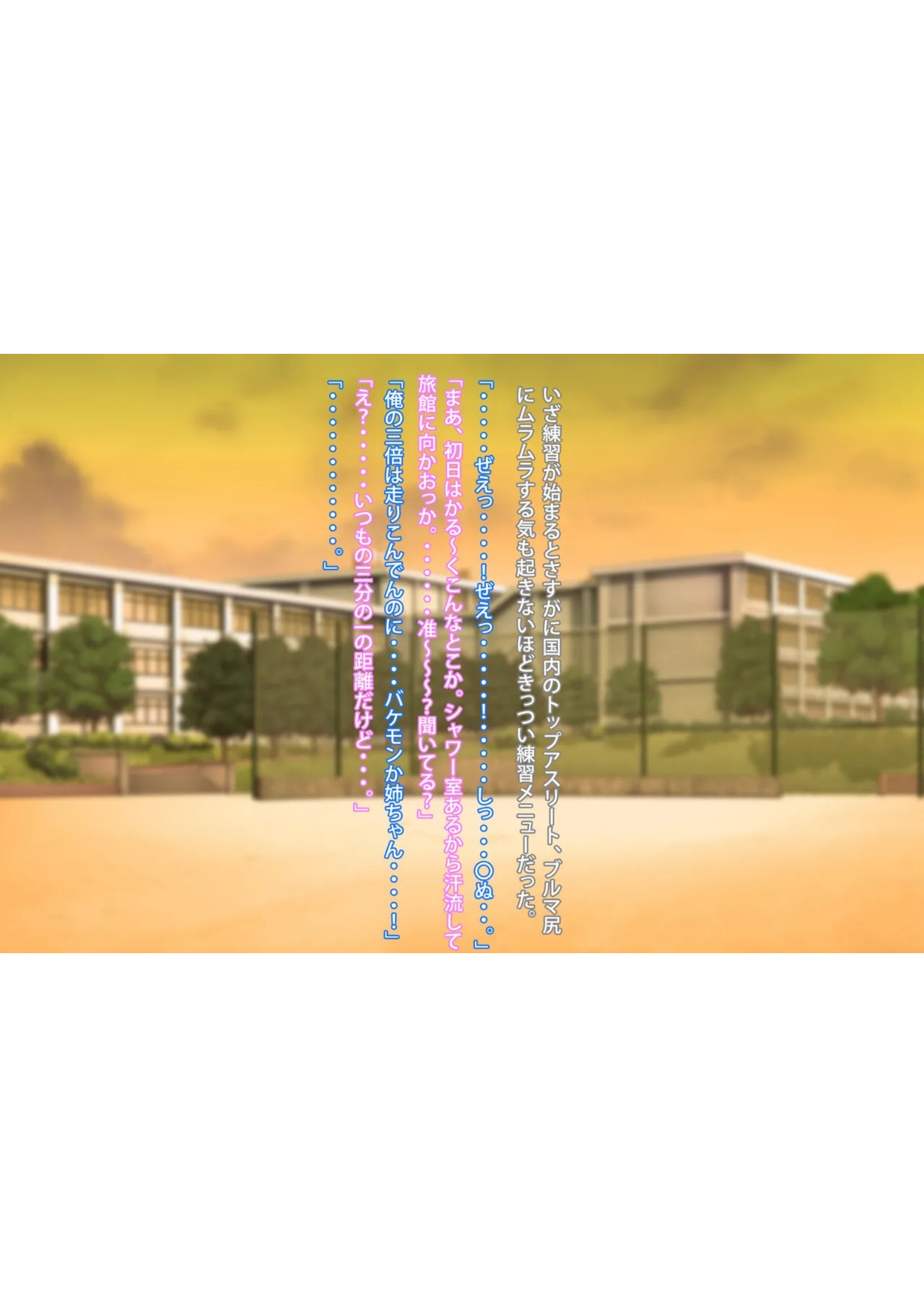
V

「あゝびっくりした……。何げに動画や画像でしか姉ちゃんのブルマ姿なんて見たことなかったもんなあ。……。ヤバかったなあ尻と太もも……。とりあえずかくく抜いてこないとフル勃起しちゃうよ……。」

慌ただしくトイレに向かいながら思い出していた。はじめてのオナニーは洗濯カゴから借りてきた脱ぎたてのレーシングブルマと、ネットに上がっていた競技中の姉のまとも動画でいたしたことを……。

「二人つきりで二泊三日……。う〜ん……。ガマンできっかなあ」





いざ練習が始まるときさすがに国内のトップアスリート、ブルマ尻にムラムラする気も起きないほどきつつい練習メニューだった。

「……………ぜえっ……………ぜえっ……………しっ……………ぬ……………」

「まあ、初日はかる〜く〜こんなところか。シャワー室あるから汗流して旅館に向かおうか……………准……………聞いてる?」

「俺の三倍は走りこんでんの……………バケモンか姉ちゃん……………!」  
「え?……………いつもの三分の二の距離だけ……………」

「……………」





ザアアアアア!

どなた様の部屋なのかなまだマナをマナにオオオオ……  
聞いている誰?

はあっ!♡はあっ!♡はあっ!♡はあ……っ……っ……  
あ……ん……ん……聞いているオオオ……

カサカサ!



ザアアアアア!!

まあその時はさういふ事は出来なかつたが……  
気が強いつつてはなかつた……

(おお……♡この壁の向こうに全裸の姉ちゃんがあ……!♡)

ハハハハ!!

ザアアアアア!

あっ! やだあっ! シャンプー切れてんじゃんっ!  
准っっっ! そっちの貸してよお。

(ああっっっ! ♥見えるうっ! ♥♥ぱっぱっの練習着の  
おかげで姉ちゃんのボディラインが脳裏にっ! ♥)

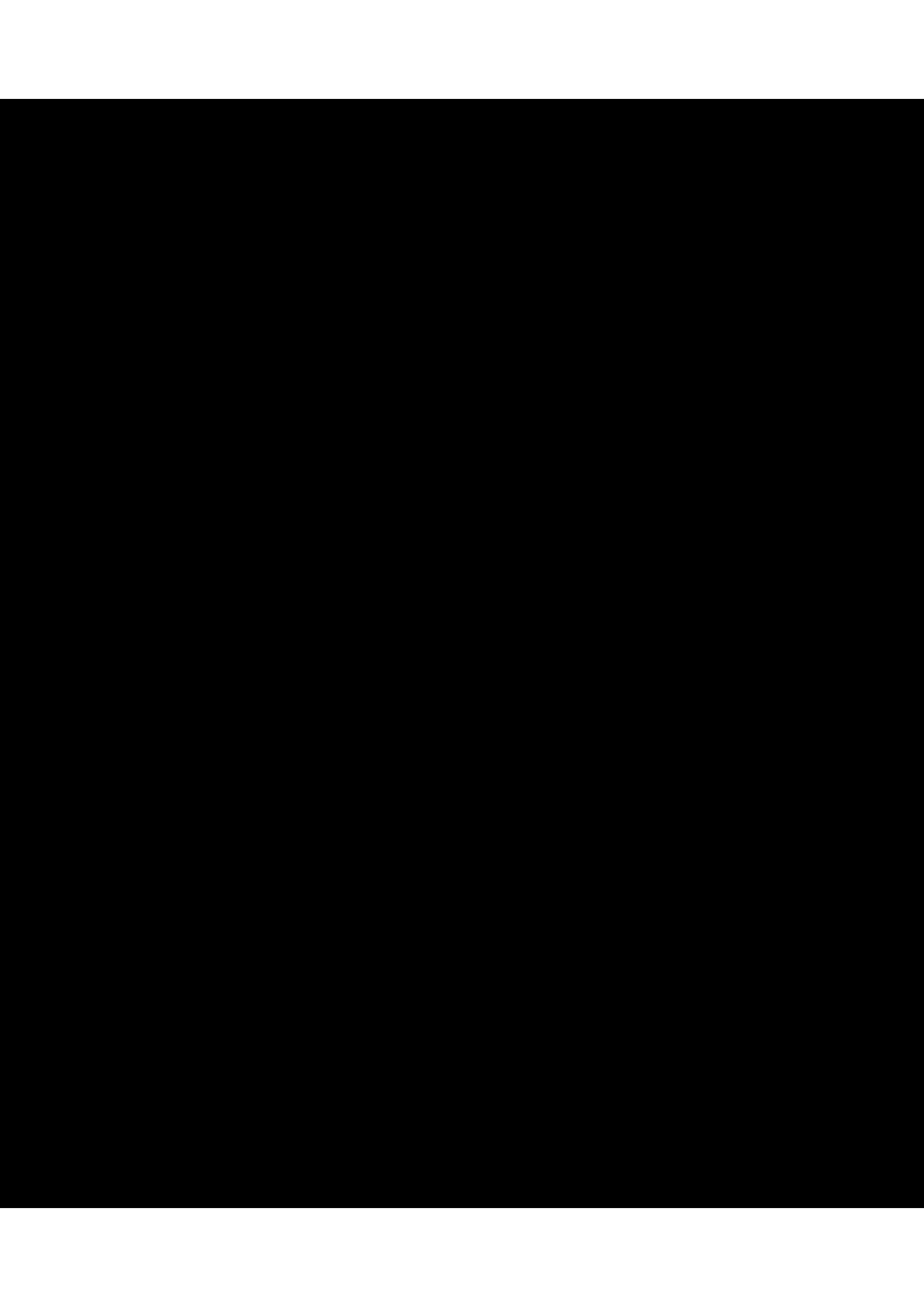
ハハハハ!



※透視中

アハハ...





ねえ、ちよつと聞いてんのっー？

ああっ……はいはいっ……せいし……じゃなかった  
シャンプーねっ！

どひゃ!!

カウ……





「へ〜内風呂も付いてんだ、結構豪華だなこ。」

「そう、普通に泊まったら高いんだからあたしに感謝してよねっ」

「はいはい、お姉様の日頃の努力のおかげでこんないいト」に宿泊できて感謝しております。」

「碧も連れてくればよかったかな、最近受験が近いせいか

ナーバスになってるもんね、あんま口も聞いてくんないし……。」

碧は末っ子。ただいま絶賛反抗期中だ。

「いんじゃないのほつとけば。きょうただいだけで旅行なんてむこうが断るっしょ。」

「さびしいな〜、昔は素直で可愛かったのに。」

「姉ちゃんが甘やかし過ぎるからだよ、俺にはめっちゃ厳しかったくせに。」

「准は長男だからな、母さんの意を汲んで泣く泣く厳しく育てたっつーわけよあたしや。」

「……ほぼパワハラだった記憶なんだが……違う世界線生きてた？俺達。」

「まっ、そんな事よりやっとなってきたオフィスズンっ！今日は目いっぱい酒のむぞおっ……」

「なるほど……栄養管理してる母ちゃんの目を盗んで大酒がっくらつために俺を利用したのか……。」

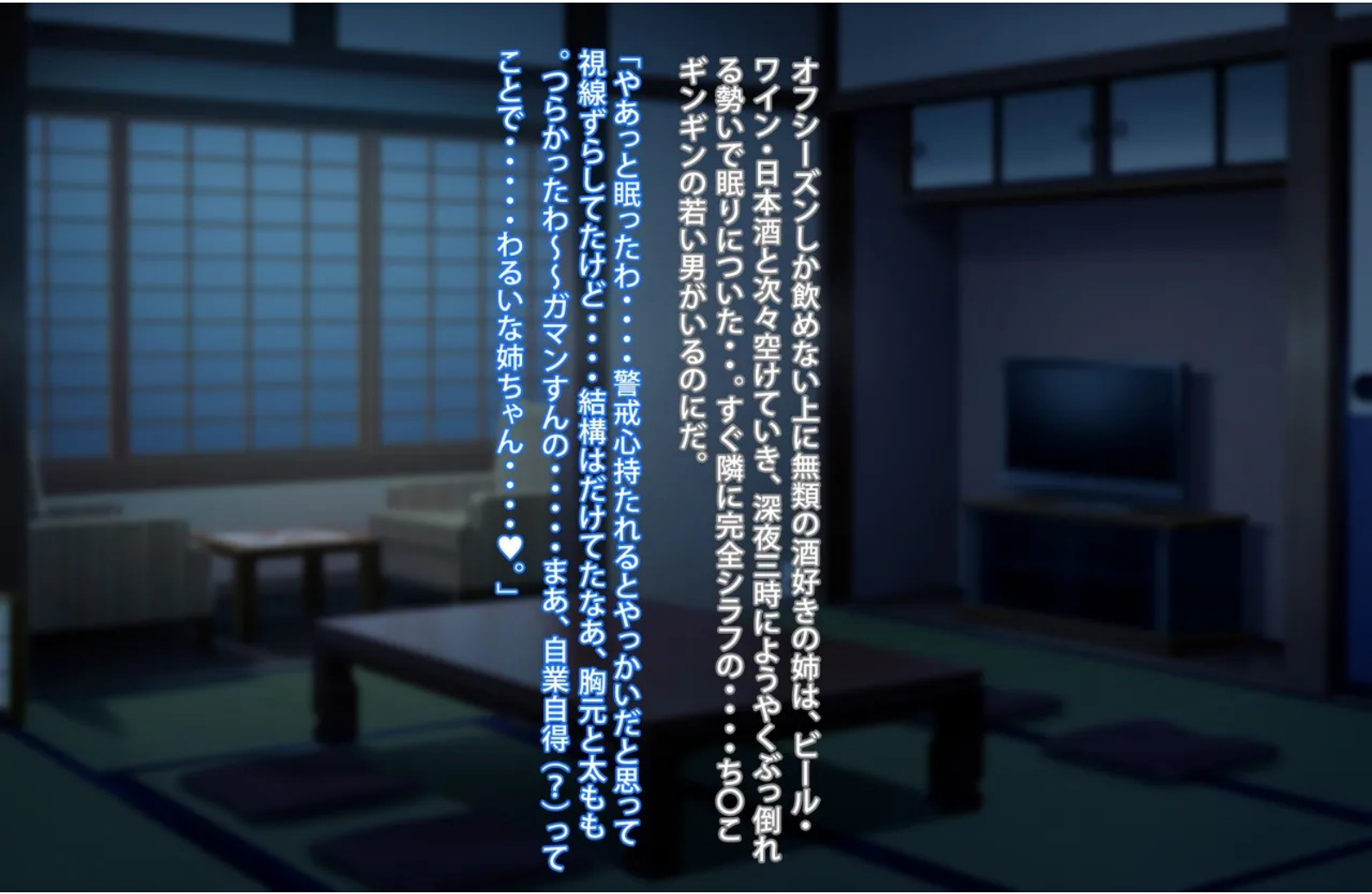
「えへへ〜、バレたあ？」

「(……まっ……おかげで)ツチも腹くくれたけどな……♡)」





「.....ふん.....ふん.....」



オフシーズンしか飲めない上に無類の酒好きの姉は、ビール・ワイン・日本酒と次々空けていき、深夜三時にようやくぐっ倒れる勢いで眠りについた……。すぐ隣に完全シラフの……。ち○こギンギンの若い男がいるのになだ。

「やあつと眠ったわ……。警戒心持たれるとやっかいだと思って視線ずらしてたけど……。結構はだけてたなあ、胸元と太もも。つらかったわ〜ガマンすんの……。まあ、自業自得(?)ってことで……。わるいな姉ちゃん……。♥。」



「……ん……ん……？……なに……准……？」  
「突然だけど……俺、姉ちゃんが好き（オカズとして）なんだ  
……姉ちゃんはおお？」

「……どおって……？そりゃ家族として好きだけど……」  
「そおじゃなくてえ、男としてってこと。」

「はあ？あんたさつきから何言ってるの……？」

「もお、にぶいなあ相変わらず……つまりさ……」  
「……ちよつ……」





だっ…ダメっ…！ 准っ…！ 抜きなさいっ…！

おおっ！♡ 念願だった菜々子のお○んごっ…！♡

痛くないだろ？♥寝てる間にたくさん舐めまくったからっ！  
結構お汁出やすいね姉ちゃんっ♥♥

ぽんぽん

てっ……てめえ何勝手に……んっ♥……だっ……の！  
ダメだって准っ！……きょうだいでっ……こんなっ……の！



締めキツいのかと思ったけどそんなことないねっ♡  
中身♡しっかり女の子じゃんっ……♡♡♡

ぽんぽん

そっ……そんな……♡……ゆっ……お願……抜……



えっああ、そつそつと姉ちゃんでも又いてたんだよ俺っ♡  
ネットにたくさん上がってるからさ姉ちゃんのエロ尻っ♡♡  
お股にくい込んだブルマのアップとかっ!♡

ぽんぽん

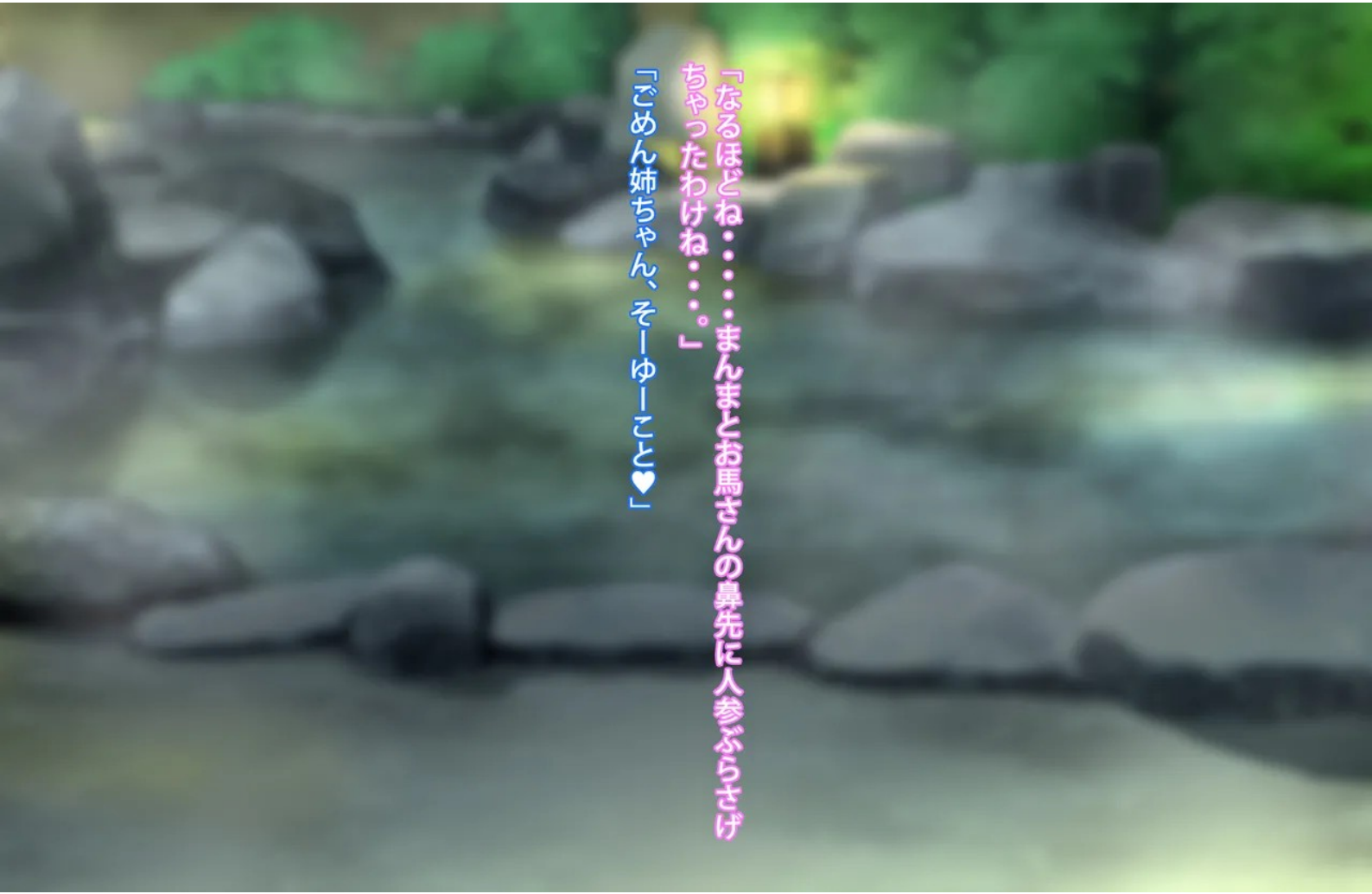
ぞりぞり

そ…そんなつもりで…履いてないのた…っ!…  
あ…っ!♡んっ!♡んっ!…奥っ♡やめてえ  
…っ!♡









「なるほどね……まんまとお馬さんの鼻先に人参ぶらさげ  
ちゃったわけね……。」

「ごめん姉ちゃん、そーゆーこと♥」



男にそーゆー見方されてるのは分かってたけど、こんな身近に  
もいたとは思わなかったわー！  
いや、でも誰でもさっしわげじゃならせう。。。あへまて  
好きな女がえっささっさっカッ！ってのさっさっ前提が。。。。

おっちゃん

Yummy

昼着用済みの姉ブルマ



変態のくせに何かカッコつけてんだよっ!!  
ほらっ!!イケっ!!イケっ!!

おおう...!!♡けっ♡軽蔑しきったその冷たい目がたまらんっ!!♡♡♡

せくけん



おっ……♡おおお……♡……♡……♡  
ん……♡やだ二発目なのにめっちゃ出るじゃん……♡(笑)  
っ……つか、風呂上がったから寝る前にもつかい……♡  
まあ……別にいいけど……♡

ジュウッ  
ジュウッ  
ジュウッ



絶対にママ達に内緒だからなっ！あとかんなん事すんの  
今日と明日だけっ！家帰ったら忘れろよっ！  
もちろんっ！♡ありがと姉ちゃんっ！♡二年の思い出  
だっ！すっ！♡♡



「…あつ♡…んっ♡…んっ♡…はんっ♡」

(ええ……やば……久しぶりにめっちゃ気持ちいい……。大ききもスキだけど角度が……♡……。ピストンのリズムすごい心地いいし……。これが相性ってやつですかあ……?!)

おるん!!

おるん!!  
おるん!!  
おるん!!

(気持ちいい?って聞いたらぶつとばされそうだな……。でも確実に悦んでるよな……。あぁ♡エッチ中の菜々子の顔かわいいっ♡)

(ああ〜っ♡やばいっ!♡ち○ぽ気持ちイイ〜っ!♡♡これ  
もし彼氏だったらめちゃうくちゃ鳴いちゃうよなあ…弟だからギリ  
我慢してるけどおっ!ああっ!声出したいっ!♡んでござくさに  
まぎれてエロい事言いたい〜っ!)

おるん!

ほわっ  
ほわっ  
ほわっ

(持って来といよかったなあお気に入りコレクション♡まさかほんとに姉ちゃん  
に着せてエッチできると思わなかったけどっ…♡)

姉ちゃんほんとに中に出しちゃっていいの？

。。。いいよべつに。。。今日安全日だから。。。。

(やったあっ！！♡)

(ああ♡なんかしんないけどめっちゃ体の中汚されたい気分。。。なんなのこれえっ！♡)

Kyaaa!!  
Kyaaa!!

Waa!!  
Waa!!  
Waa!!

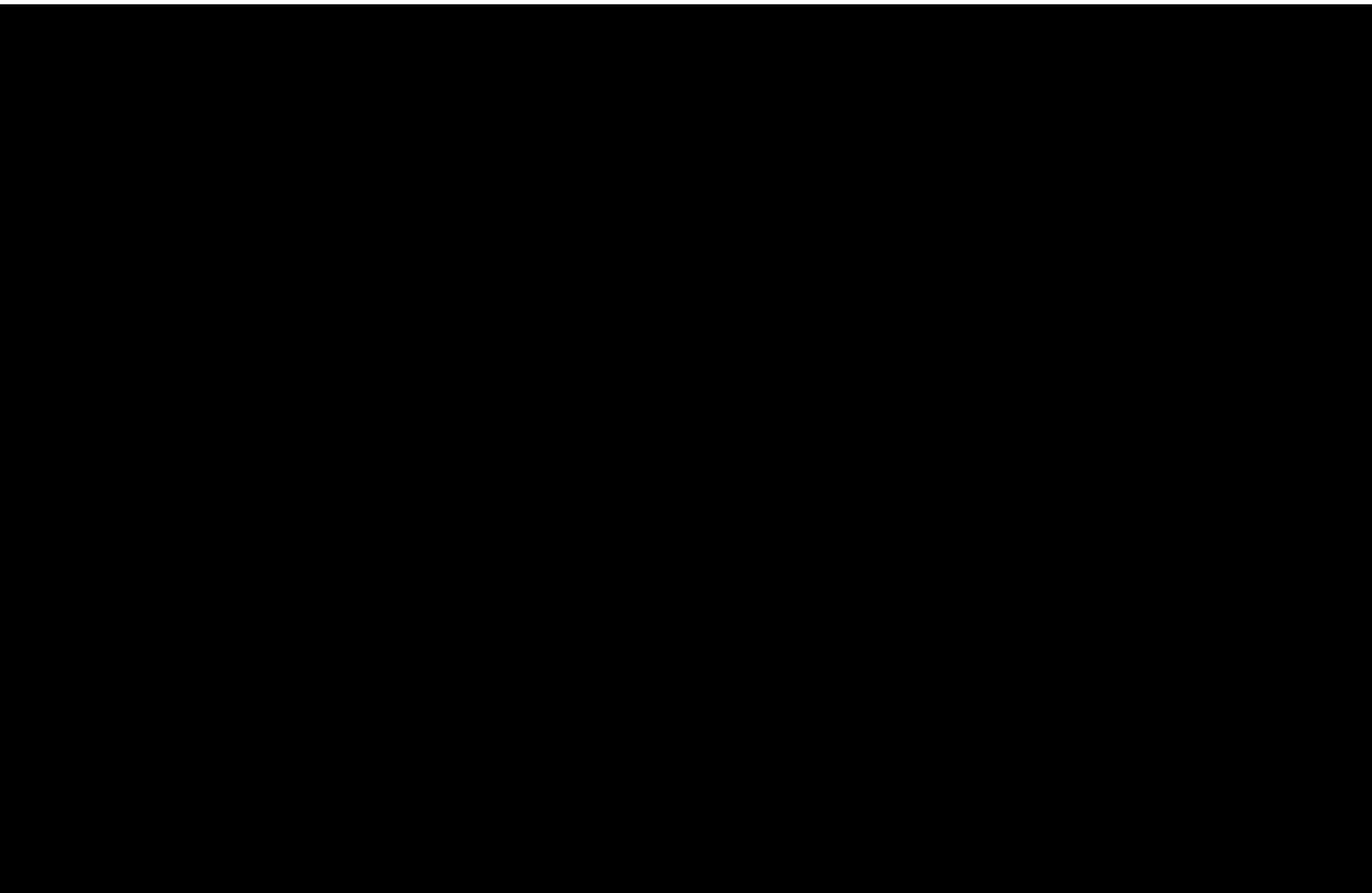




バクバク!!  
クワッ!!

はっ!!  
んっ!!  
はっ!!  
んっ!!  
はっ!!  
んっ!!  
はっ!!  
んっ!!

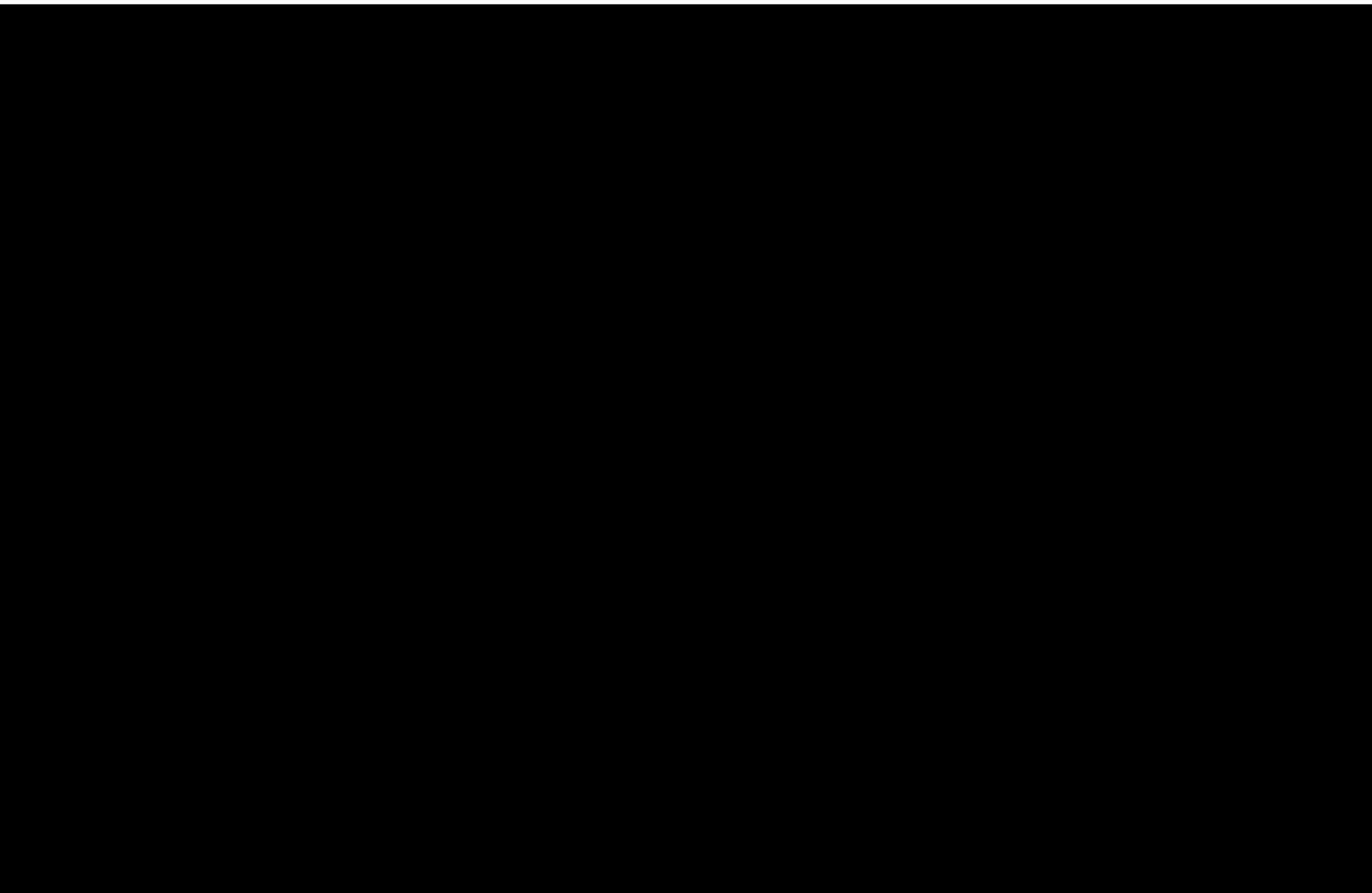
ドクドク!!  
ドクドク!!





•••••  
目 录







うおおっ~~~~っ！すげえすげえっ！さすがトップアスリートっ！  
ふっっっ！！………ふっっっ！！………

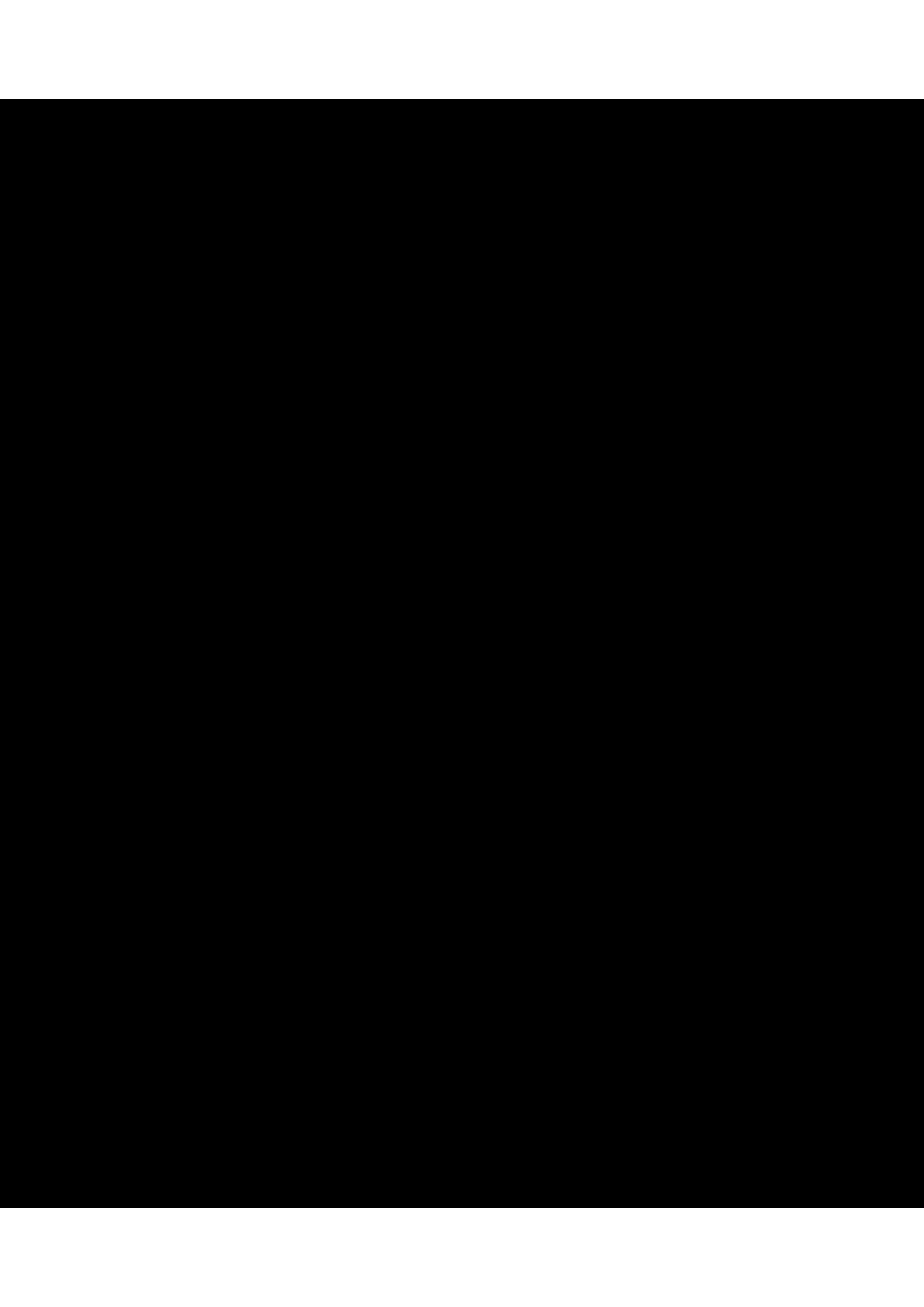


背筋もエグいが下半身の安定感たるや・う！・う！  
もっつ！変な事させんなつ！……あつ！……んつ！

グア知！！  
グア知！！

でも結構理にかなってるかもよ、インナーマッスル(ま〇こ)の強化とかっ♡  
あっ！♡んっ！♡(もおっ♡いつもより締まるからデイルドのカリ首がっ♡)  
おおっ♡姉ちゃんの汗ばんだ背筋めっちゃエロいっ！♡







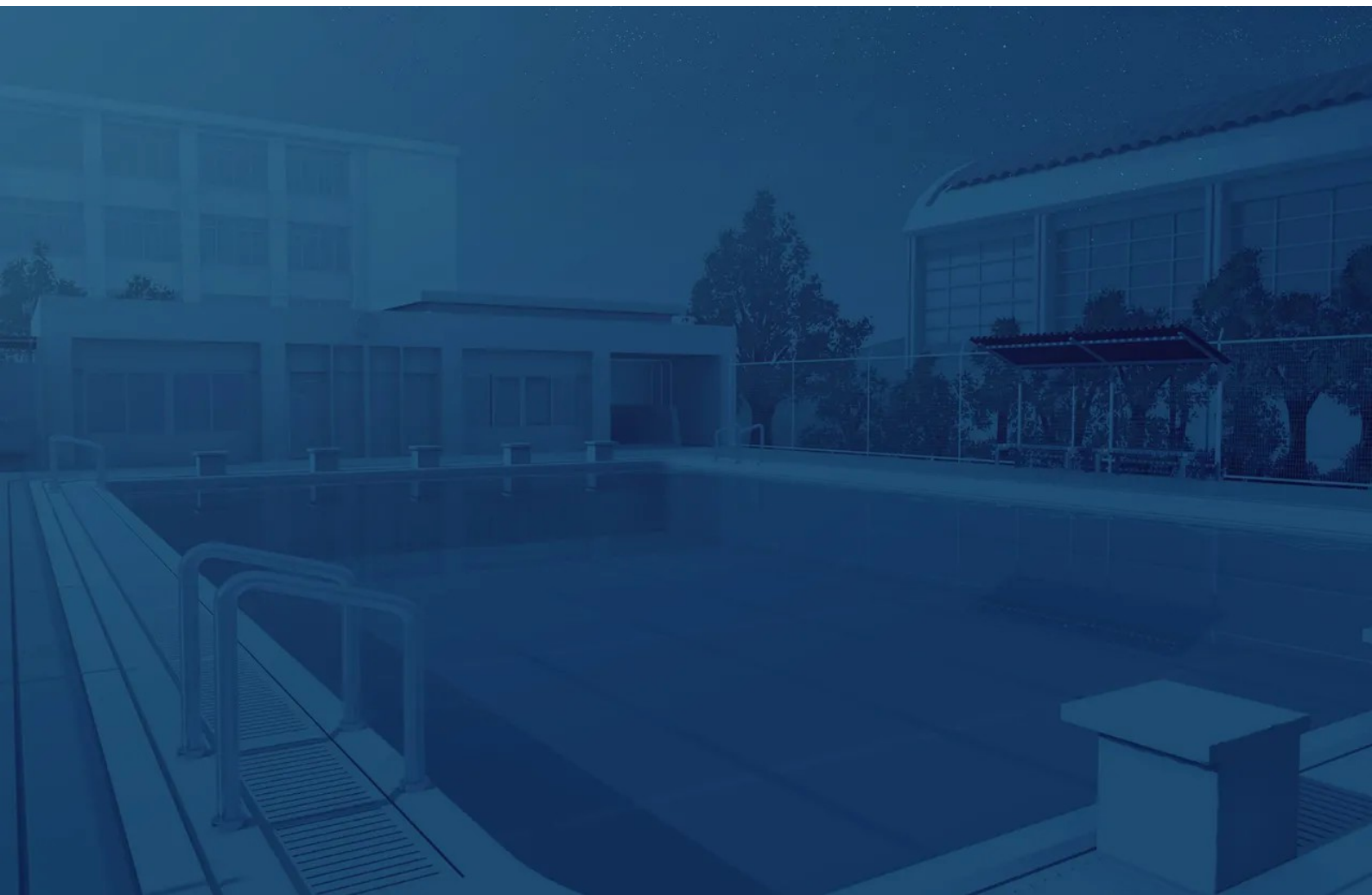
くっ♡♡♡...ばかあー！

ドク...

びんびん

びんびん

やっ♡♡ザーマンが映えるねえ、菜々子姉ちゃんの肌わっ！♡♡





はあっ!♥はあっ!♥競泳水着もめっちゃ似合うよっ♥姉ちゃんっ♥  
あんっ!♥そーみたいねっ♥准のアソコっ♥かっちかちだもんっ♥  
姉ちゃんのおかげでグシとタイムも縮まったしっ♥ありがとなっ!  
はっ...んっ♥なんか走るとこ以外の運動の方が多かった気がするけど...♥



姉ちゃん・・・その・・・日本発つまでの間この関係続けたんだけど・・・  
まあいいわよ・・・あたしも暇だし・・・運動にもなるし・・・♡けど絶対に  
みんなにはバレないよっにわっ！  
ああ分かってる、特に姉ちゃんにバレたら・・・二人とも家追い出されそっ  
だもんな。



まあでも留学前に心配事が1個片付いてよかった……あとは碧だなく心配  
なのわ……  
そんなに深刻？  
だってあたしが実家に帰ってから目も合わせてくんないだもんっ……ママとは  
会話するのに……なんか怒らせるような事したかな……？  
……あ……なるほど……(笑)

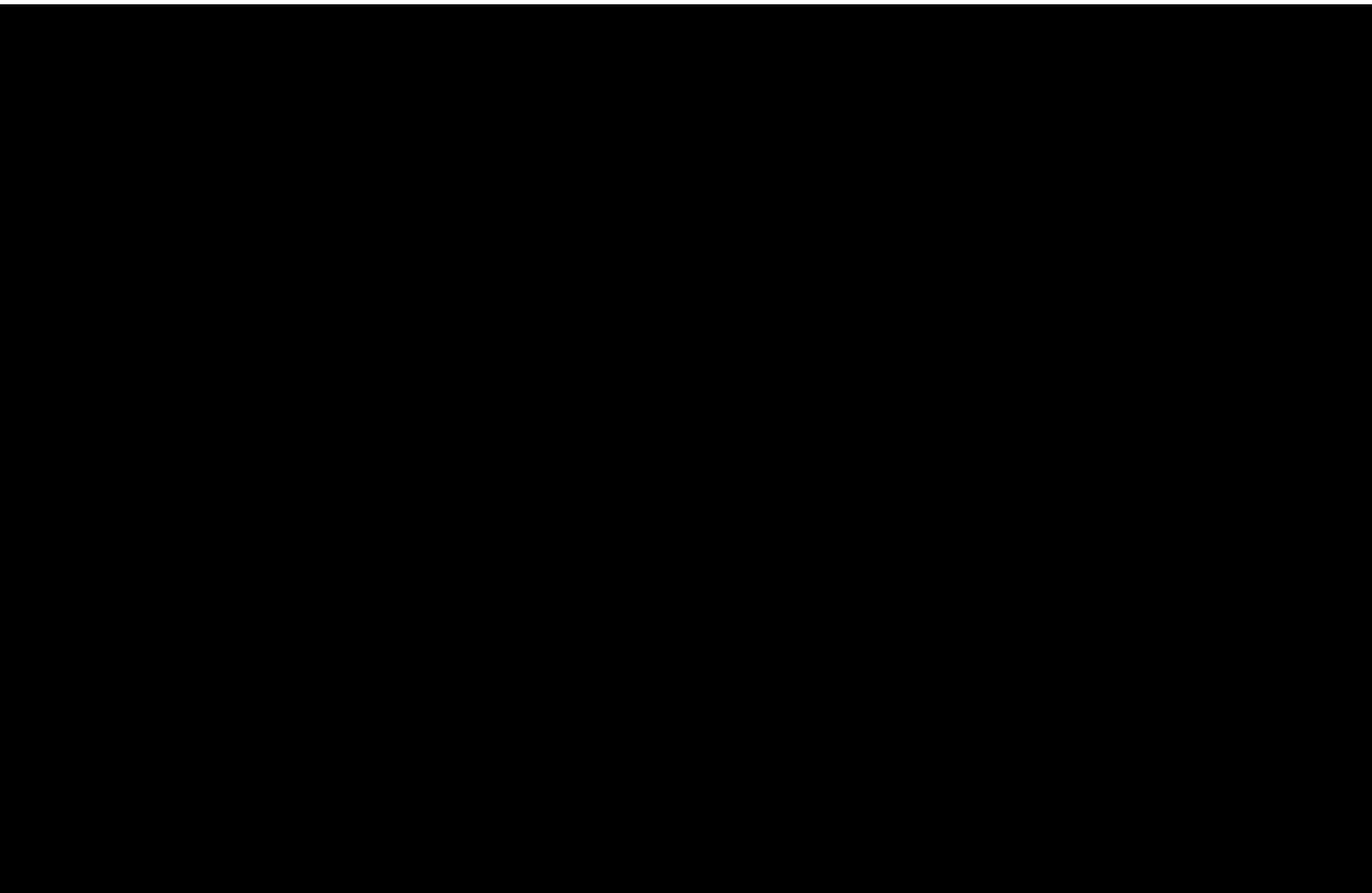


なにななるほじりて.....  
まあ俺にまかせとらしてよい。





はぁっ!♡はぁっ!♡……姉ちゃん……♡  
准……っ!♡♡♡





…一週間後。

「じゃあママ達夕方には帰ってくるから洗濯物の取り込みとかお願いね。」

「はーいっ。せっかく夫婦水入らずなんだから家の事は気にしないでゆっくりしてきなよ。」

「そうそう気にしないで。姉ちゃんだってカップ麺くらいは作れるんだからさー(笑)。」

「あー」

「もー、いい歳してケンカすんじゃないわよあんた達わ。ま、とにかくたのんだわよ、じゃ。」

……バタンツ

「……………」

「……………姉ちゃんっ……っ♡チューしようっ……っ♡♡」

「ぼっ……………車出るまで待ってっ……」

「こっち帰ってきてからまだ1回しかシテないじゃんっ！今日は夕方までたっぷりエロい事しよ……っ♡」

「声デカいって…碧が聞いてたらどおすんのよっ……」

「アイツは朝から塾に行ってるよ、自習室で勉強するとかで。」

「……………そうなの？」

「ああ♡だから今は二人つきり……………♡♡。したいプレイあるからさあ、早く俺の部屋行こ……っ♡」

「わ、分かった分かった、押さならんぞっ……」



「…………おう、碧。今日は塾行かないのか？」

「水曜は自習室閉まってるから、家でやるんだよ。」

「ふーん、そう言えばお前最近菜々子姉ちゃんに冷たいそうじゃん？」

「…………別にそんなことないよ。」

「姉ちゃん落ち込んでたぞ…………って言うかお前お姉が気になってるんだろ？(笑)」

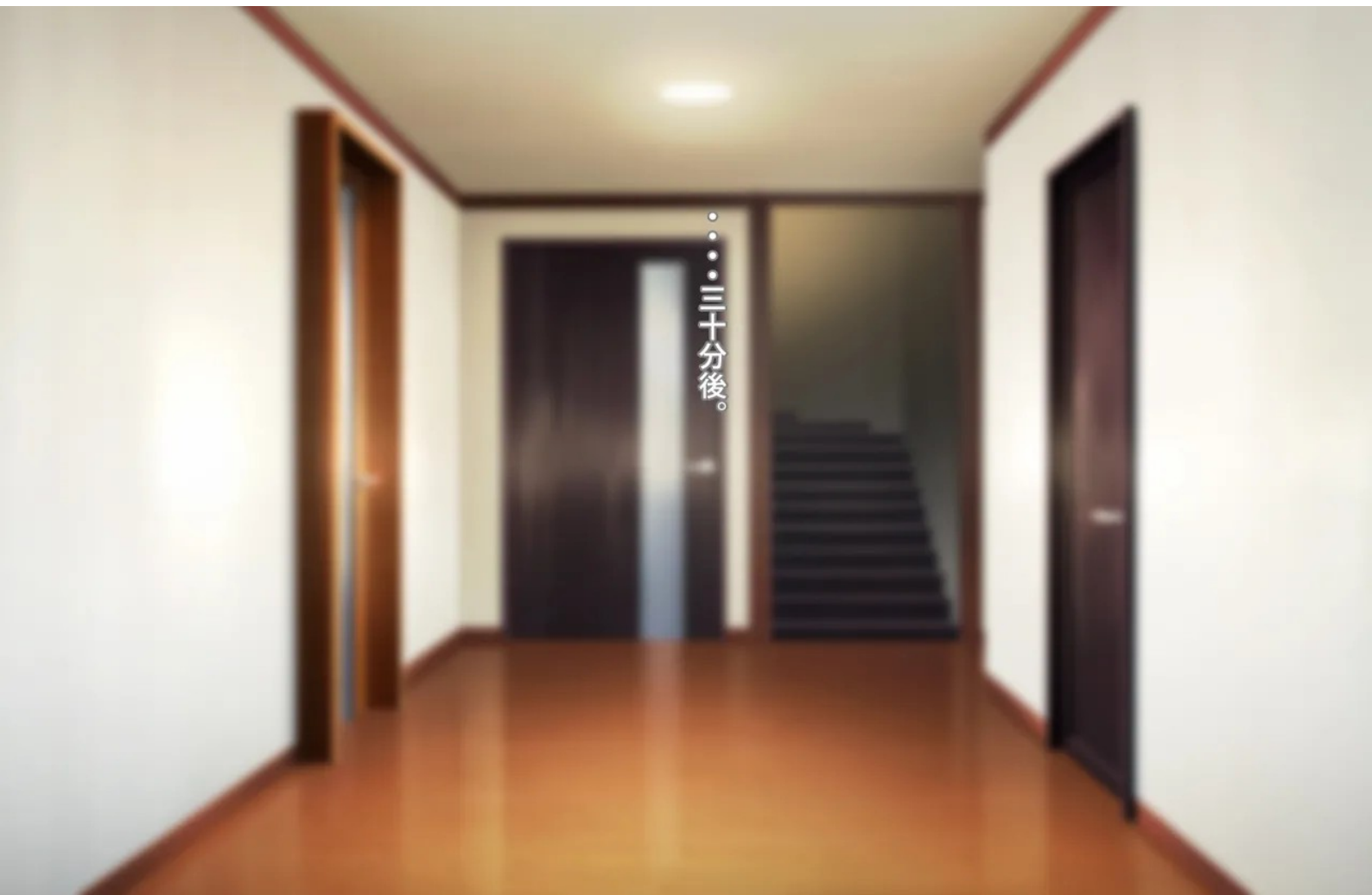
「…………は？…何言ってるんだよ！」

「わかるぞお〜！あんなに色っぽくなって帰ってきたんじゃ、思春期の男ならみんな気になるよなあ〜うんっ。」

「何勝手な事いってんだ兄貴っ。」

「…………碧…………三十分たったら物音立てずに俺の部屋に入ってこい。絶対に声も出すなよ、いいなっ！」

「……………」



...三十分後。



「……何だろっ兄貴のやつ……。」  
カチャ……。  
「……え……。」





おっ！♡おおっ！♡気持ちいいっ！♡♡

ほっほっほっ！  
ほっほっほっ！  
ほっほっほっ！

あーっ！  
あーっ！  
あーっ！

あんっ！♡あんっ！♡んっ！♡♡あっ！♡♡

（うっ…嘘……なっ菜々子姉ちゃんと  
兄貴が……えっちしてる……っ！）

あーっ！  
あーっ！  
あーっ！

あーっ！  
あーっ！  
あーっ！



すげっ！♡姉ちゃんのデカ尻にち○ぽ♡根本まで  
喰われてるっ！♡♡♡

カッ！カッ！カッ！

カッ！カッ！カッ！

だつてえ♡准のお○んちんおつきくて  
超気持ちいいんだもん♡♡♡♡♡

（……うわぁ……菜々姉えっろ……♡）

カッ！カッ！カッ！

カッ！カッ！カッ！



すげな菜々姉のことだから回ってち○ぽ漁りまくん  
だろっどーせっ♡

カッ!カッ!

カッ!カッ!

あんっ!♡そんな事しないよおっ!♡  
准に犯されるのが一番気持ちいいんだからあっ!♡

。。。うわぁ。。。菜々姉えっろ。。。♡

カッ!カッ!



なら日本にいる間に向いっつで浮気しないようにしつかり調教  
しとかないとなっ!♡♡

カッ!カッ!

カッ  
カッ

ああん~~~~♡♡♡してしてえ!♡♡お姉ちゃん  
准の専用まのんどなるかならあり!♡♡♡つばい♡♡  
不回来事つてんて♡♡♡

。。。はあ~~~~♡♡♡おめ!♡♡♡

カッ!





あああああああ〜〜〜！〜！〜！  
准のち○ぽでまたイクうっうっ！〜！  
♡♡♡♡♡

びんびん  
びんびん  
びんびん

はあ〜♡はあ〜♡はあ〜♡はあ〜♡  
びんびんびんびん！！

はっ♡はっ♡ねー♡はやくうっ♡♡♡  
お顔にせーし♡ぶっかけてえ…♡♡♡

おんん

こら菜々子っ♡お行儀良く待てない子  
にはかけてあげないぞ♡♡♡



やだあつ……どめんなさあい……♡♡

おんが

ひそひそ……(すげえ……兄貴! はじめて尊敬したよ♡)

ひそひそ……(はじめて……どうもウチのきょうだい達はみんな

クチが悪いな……ま、まあとにかく……受験に合格したら俺が

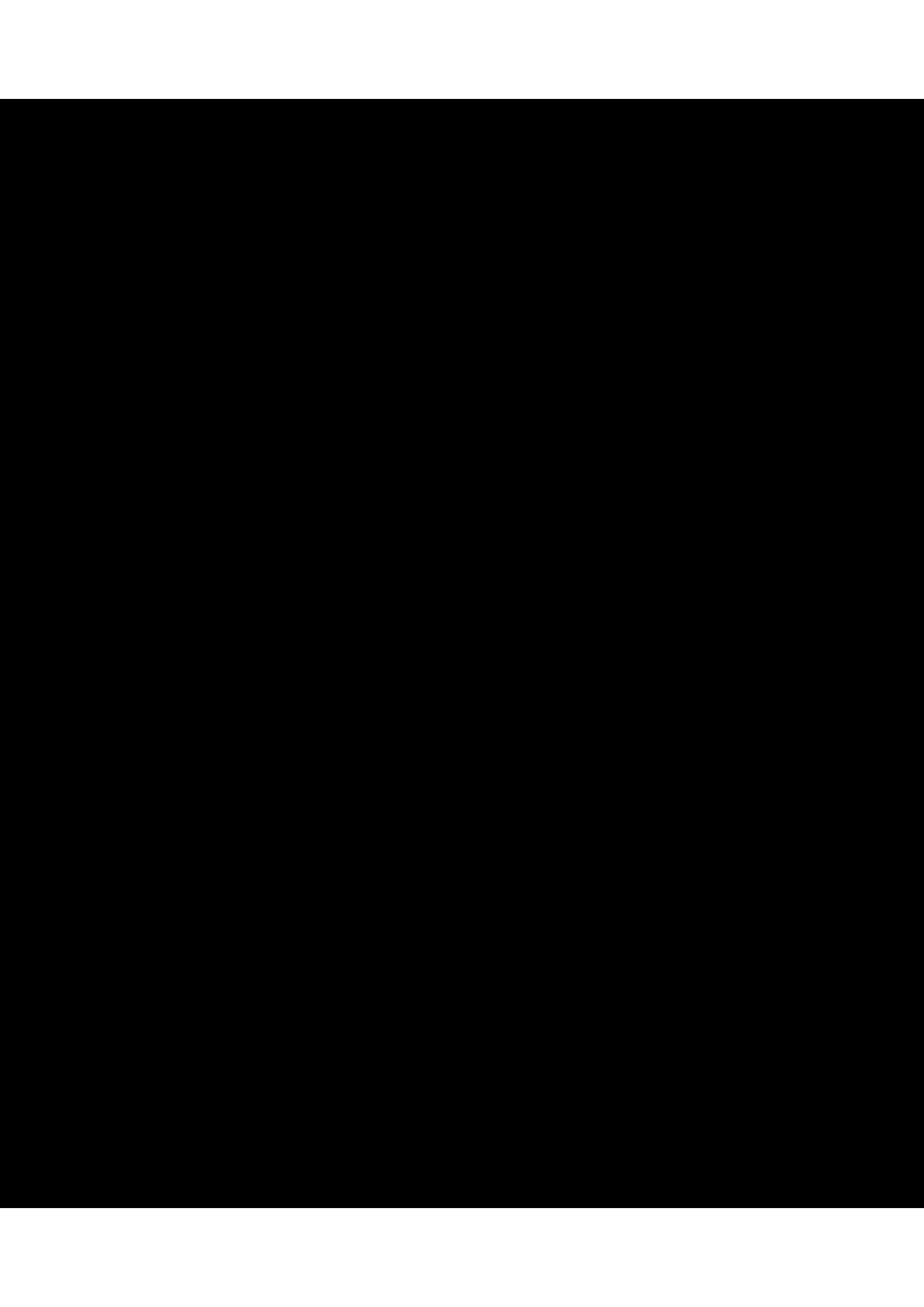
上手いこと菜々姉で筆下ろしさせてやるから、なんとか頑張れよ。)

はっ！♡はっ！♡はっ！♡お○んちんのおいぞくぞくすんすん……  
ああんっ♡今日は特にいっぱいにおうてくるよ……♡♡♡♡♡

ああん♡

ひそひそ……（ありがとうっ！絶対合格して菜々姉と種づけセックス  
やりまくるっ！♡♡♡）

ひそひそ……（おっ……おおっ、がんばれがんばれ……種づけって……  
見かけによらずあぶねーヤツだな……まあいいか……なんか元気だし……）







あんっ!♡できるうううっ♡♡菜々子のすけろO-2い♡  
いっばい使つてえええっ♡♡♡♡♡

んんんんん!!

んんんんん!!

♡♡♡





























